



いつもご紹介ありがとうございます。

3 月 紹介数

内科	48	整形外科	31	腎・透析センター	0	歯科口腔外科	23
内科 ER	138	放射線科	129	内視鏡	47	消化器内科	52
外科	56	脳神経外科	3	呼吸器外科	3	眼科	0
泌尿器科	52	小児科	28	胸部心臓血管外科	5	乳腺外科	8
産婦人科	103	緩和ケア外科	34	循環器内科	54		
皮膚科	6	精神科	4	リハビリ科	6	合計	830

心房細動に対する新しいカテーテルアブレーション治療について

今回は、心房細動に対する新しいカテーテル治療である、パルスフィールドアブレーションについてご紹介します。

パルスフィールドアブレーションは 2024 年 9 月に保険適用された新しい心房細動の治療法であり、既存のカテーテルアブレーションにおける合併症リスクの低減および治療成績の向上が期待できます。これまでのアブレーションは加熱または冷却をすることで熱によりやけどを作って心臓の細胞を壊死させてきましたが、パルスフィールドアブレーションは熱によらない治療法です。そのため心臓周辺の食道や横隔神経、肺静脈などの組織への影響が少なく合併症のリスク軽減や手術時間の短縮による患者さんの負担軽減が期待されています。カテーテルの先端の電極にパルス状の電圧をかけることで電極周囲に電場（パルスフィールド）



を形成します。この電場に細胞組織がさらされると細胞膜に孔が形成され細胞が動かなくなります（細胞死します）。治療対象である心筋の細胞のみパルスフィールドの影響を受けるため心臓の治療部位を選択的に治療できるといわれています。手技時間についても、従来の高周波アブレーションでは約 3 時間であったものが、パルスフィールドアブレーションでは約 1.5 時間と大幅に短縮することができます。

当院では 2015 年 11 月より心房細動に対する高周波カテーテルによるアブレーションを行っていますが、2025 年 5 月よりパルスフィールドアブレーションを開始します。発作性心房細動の症例が主な適応であり、持続性心房細動や再発時の再治療については今後も高周波カテーテルによる治療が必要であり、症例に応じて適切な治療を検討、選択させていただきます。

高齢化が進み、心不全患者が増加する中、心房細動管理の重要性は高まっています。また脳梗塞の予防は医療、介護の両面からも重要な課題となっており、心房細動に対する根治療法としてのアブレーションの役割は大きくなっています。たとえ高齢（80 歳以上）であってもご自身が治療を望まれる方には治療の選択肢およびメリット、リスクなど説明させていただいています。ご相談だけでも結構ですので、ご遠慮なく当院循環器内科にお問い合わせください。

副病院長・循環器科長 石原 昭三

循環器センター診療体制表

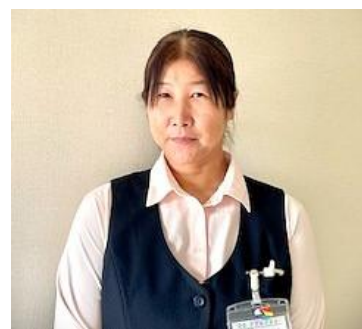
	月	火	水	木	金	土
循環器センター・午前診療	×	(予) 鷲見宗一郎	(予) 石原昭三	(予) 成田亮紀	(予) 南里直美	(予) 循環器外来
		(予) 神山雅喜	(予) 有田速人	(予) 神山雅喜		ペースメーカー外来(2・4)
循環器センター・午後診療	(予) 具滋樹	×	ペースメーカー外来(3)	×	×	×
	(予) 大内賢治					
心血管外科・午前診療	*手術日	×	*手術日	×	(予) 井上剛裕	×
心血管外科・午後診療	*手術日	(予) 金田敏夫	*手術日	×	×	×

地域連携室 新入職員紹介

3月からサポートセンター副センター長に任命されました、本多比佐代（ほんだひさよ）と申します。急性期病棟から看護学校教員へ出向、その後再度病棟へ出戻り看護師長の経験をさせて頂き、現在看護管理室 教育担当副部長の兼任もさせて頂いています。

プライベートでは、孫5人に囲まれ、毎日賑やかに過ごしています。

耳原総合病院の理念である、安心・安全・信頼の医療、無差別・平等の医療、患者負担の少ない医療、地域とともに歩む専門職を育成しながら、サポートセンターのメンバーと共に地域医療を守っていきたいと思っています。耳原総合病院ともども、これからもよろしくお願いいたします。



4月から大阪みなみ医療福祉生活協同組合より出向で来ました、小川智之（おがわともゆき）と申します。趣味は野球観戦と野球ゲームです。

前職場は診療所で約8年間働いておりました。そこでの経験を活かし、耳原総合病院の地域に根付いた医療・介護の一旦を担えるように日々努力していきます。これからよろしくお願いいたします。





社会医療法人同仁会

耳原総合病院
MIMIHARA GENERAL HOSPITAL

地域連携室だより



第115号

2025.4 (別紙)



新入職医師紹介 ～泌尿器科～

くにしげれもん

・國重玲紋 医師

資格：泌尿器科専門医

所属学会：日本泌尿器科学会

2025年4月1日より着任しました泌尿器科の國重玲紋と申します。2016年に近畿大学医学部を卒業し、2018年に近畿大学泌尿器科学教室に入局しました。

入局後は近畿大学病院含め関連病院で、排尿障害や悪性腫瘍、尿路結石などの診療に携わっていました。これまでの経験を生かしつつ、患者さんに優しい医療を提供できるように邁進してまいります。よろしくお願いします。



新入職医師紹介 ～麻酔科～

にしだひろむ

・西田宙夢 医師

資格：麻酔科専門医

所属学会：日本麻酔科学会、日本集中治療医学会

2025年4月1日より着任いたしました、麻酔科の西田宙夢と申します。大阪市立大学医学部卒業後、医局関連の病院に勤務していました。この度ご縁があり、耳原総合病院で働かせていただくことになりました。まだこの病院が旧病院だった頃に医学生向けのイベントで来させてもらったことがあり、勝手ながら身近に感じていました。これまでの経験を活かしつつ、診療に努めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

くろさわ

・黒澤すみれ 医師

資格：麻酔科専門医

所属学会：日本麻酔科学会、日本ペインクリニック学会、日本区域麻酔学会

2025年4月1日より着任しました麻酔科の黒澤すみれと申します。徳島大学医学部出身で、麻酔科を専攻してからは大阪府内の病院で研鑽を積んで参りました。この度ご縁があり耳原総合病院で勤務する機会を頂きました。手術や出産など、麻酔を必要とする状況に置かれた患者様のご不安に配慮し、安全第一かつ痛みの負担を和らげることを目指して、地域の皆様が安心して麻酔を受けられるよう尽力して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。



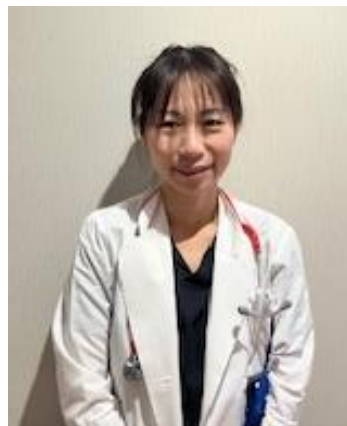
新入職医師紹介 ～小児科～

こたに ゆうき
・小谷有紀 医師

資格：小児科専門医、子どものこころ専門医、小児心身医学会認定医
所属学会：日本小児科学会、こどものこころ専門医機構、日本小児心身医学会

2025年4月より耳原総合病院に着任しました小谷有紀と申します。和歌山県立医科大学を卒業後、地元である堺に戻り、近畿大学病院での研修医を経て小児科に入局しました。大学病院ではNICUで新生児医療に携わり、地域医療として河内長野にある大阪南医療センターでアレルギー分野や小児心身症分野を中心に診療をしておりました。

私生活では、保育園から小学生までの4人の子供の子育て中です。育児には不安はつきものです。私自身も育児と仕事の両立に戸惑いながらも、小児科医としての視点、またママとしての視点の両方から、皆様によりよい医療を提供できるように日々精進してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



まつもと ちなみ
・松本千奈実 医師

資格：小児科専門医
所属：日本小児科学会、日本アレルギー学会、日本小児アレルギー学会
日本小児臨床アレルギー学会

初めまして、2025年4月より着任しました小児科の松本千奈実と申します。広島県出身で広島大学を卒業後、国立病院機構呉医療センター・中国がんセンターで初期臨床研修を行いました。

小児科医としては広島県内の大学病院、夜間救急診療が中心の病院、総合周産期センターや中山間地域の総合病院など、様々な役割を担う施設で診療する機会に恵まれながら経験を積んで参りました。子どもたちが健やかに成長していくことができるよう見守りサポートしながら、一人ひとりの患者さんに対して丁寧な診療を心掛けたいと思っております。堺市の医療に貢献できるよう精進して参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



地域連携室



いくわ みみはら
直通 0120-198-338
TEL 072-241-0324(直)
FAX 072-241-0208(直)

平日 8:45~20:00 土 8:45~13:00 日祝休